

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00176)

事務事業名称 障害者の社会参加支援			款 04	項 01	目 03	事業 004	整理番号 186				
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係	連絡先電話番号 1139		昨年度整理番号 188						
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 03						
平成30年度担当課名	障害者施策課					事業評価区分	一般				
対象	身体障害者、知的障害者、精神障害者 など		根拠法令等	(1)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条						
				(2)							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標	指標名(1)	移動支援事業利用者数						
	障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。		指標説明	指標名(2)	移動支援事業年間実利用者数						
					移動支援事業延利用時間数						
					移動支援事業年間延利用時間数						
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		屋外での移動困難な障害者の社会参加を促すためガイドヘルパーを派遣する。社会参加促進事業(各種講習会、自動車改造費助成等)、意思疎通支援(手話通訳者・要約筆記者派遣等)、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上でサービスを給付または助成する。		成果指標	指標名(1)	手話通訳者・要約筆記者派遣回数					
				指標説明	指標名(2)	手話通訳・要約筆記者を派遣した回数					
				指標説明							
区分	単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				計画	対計画比(%)
指標	活動指標(1)	1	人	862	1,030	897	1,100	878	1,165	79.8	
	活動指標(2)	2	時間	151,029	147,000	151,855	150,000	152,973	153,000	102.0	
	成果指標(1)	3	回	1,097	1,267	1,176	1,300	1,187	1,300	91.3	
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	492,079	508,738	498,141	508,678	501,745	530,790	平成30年度 予算執行率(%) 98.6	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 移動支援事業の規模が 分りやすいよう、実利 用人数だけでなく、延 利用時間数を追加した 。	
	(内)委託費	7	千円	467,164	482,237	473,261	482,881	477,322	505,637		
	職員数	常勤職員数	8	人	4.18	4.18	4.09	4.09	3.99		3.89
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	5.00	5.00	3.00	3.00	3.50		3.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	35,789	35,789	35,137	35,137	33,620		32,777
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	14,855	14,855	8,832	8,832	10,812		9,267
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	542,723	559,382	542,110	552,647	546,177	572,834		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	629,609	543,089	604,359	502,406	622,069	491,703		
	財源	受益者負担分	16	千円	2,113	2,125	2,020	2,168	1,994		2,420
		国からの補助金等	17	千円	130,284	136,439	137,222	12,949	139,186		151,061
		都からの補助金等	18	千円	74,509	77,076	78,203	73,762	78,914		85,613
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	206,906	215,640	217,445	88,879	220,094	239,094		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	335,817	343,742	324,665	463,768	326,083	333,740		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4			

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	186
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	移動支援事業委託	73,654	回	454,232
		手話通訳者・要約筆記者派遣	1,187	回	11,020
		地域活動支援センター事業（運営：直営1所、補助事業所1所）の実施	2	所	23,918
		システム改修	1	回	2,102
		その他（自動車改造費支援、社会活動支援、代読・代筆サービスほか）			10,473
(2) 事業実績	<p>移動支援事業の、利用人数は平成29年度に比べ19人減少しましたが、年間延利用時間は一貫して増加しています。安定したサービスが提供できるよう、すぎなみ地域大学と協働でガイドヘルパー養成講座を実施し、平成30年度の有資格者は139人となっています。また、利用者への利便が図れるよう実績の管理ができるようシステムを改修しました。</p> <p>手話通訳者等の派遣事業は、平成29年度と比較して11件の増となり引き続き増加傾向にあります。ICT活用に係る研修・交流会に参加し、東京都や他の自治体の取組について情報収集に努めました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年10月の障害者自立支援法本格施行に伴い、事業の再編・新規事業を開始しました。その後法の見直しが行われ、平成24年度には自立支援法、児童福祉法の改正により民間の相談支援事業所の役割が拡大しました。</p> <p>平成25年4月に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され、身体・知的・精神の3障害に難病等が追加されました。</p> <p>障害者総合支援法施行3年後の平成28年4月に、サービスや基準等の見直しが行われました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>障害者社会参加活動の中心事業の一つである移動支援事業には、余暇・社会参加活動だけでなく、通所・通学に利用したい、身体・精神障害者の基準を緩和してほしいなど、柔軟な利用への要望が数多く寄せられています。また、利用者からはガイドヘルパーが見つからない、事業者からは人材不足で対応できない、報酬単価を上げてほしいなどの要望が挙げられています。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、手話通訳者等から派遣費の増額等の要望が引き続き寄せられています。また、利用者からは、障害者の社会参加の機会が増えたことから派遣対象の拡大の要望が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者のニーズは、障害の種類・程度、また家庭や社会状況等によって異なり、その内容は今後ますます多様化していくことが予想されます。その多様化した更なるニーズへの対応には、担い手であるガイドヘルパーの増員が不可欠であり、人材確保に向けた取組などを積極的に行っていきます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、障害者差別解消法施行に伴い、民間事業所における合理的配慮の提供が進むことで事業者からの斡旋利用が増えると見込まれます。</p>			
評価と課題	<p>移動支援は、障害者の社会参加を促進する基幹となる事業で、延利用時間数は増え続けています。多様なニーズに応えられるよう、個々の障害や能力などに応じて適切な支援ができるよう事業内容を見直すとともに、担い手不足で利用できないとの要望が多いため、人材確保に向けた取組を積極的に行うとともに、支援方法の検討などを行います。</p> <p>意思疎通支援事業は、利用者のニーズが多様化しているため、派遣対象の範囲等を検討してまいります。障害者差別解消法施行に伴い、手話通訳・要約筆記それぞれの制度をさらに広く周知してまいります。また、区直営の地域活動支援センター事業は、利用者のニーズを踏まえ、事業のあり方を引き続き検討してまいります。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>移動支援事業は、年間延利用時間数は年々増加しており、コストは拡充することが予想されます。また、令和3年度を目標に個々の障害や能力に応じて適切な支援ができるよう、対象者、支援方法などの見直しを進めていくにあたり、調査、システム改修などの準備経費の増が見込まれます。</p> <p>区直営の地域活動支援センターは、利用者のニーズを踏まえて、あり方全般について引き続き検討してまいります。意思疎通支援事業の手話通訳者派遣は、多様な派遣依頼に対応できるよう、派遣対象の範囲等を利用者のニーズを考慮して検討してまいります。また、要約筆記者派遣は要約筆記者の新たな育成が難しいことから従前どおりの派遣依頼に対応するため、関係機関を含め検討します。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00178)

事務事業名称		障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	189	
現担当課名		障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1139		昨年度整理番号	191			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和51年度													
	平成30年度担当課名	障害者施策課			事業評価区分 一般										
	対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。			根拠法令等	(1)		障害者基本法第5、7、23条							
						(2)		杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人も共に参加するイベントなどを通じて、全ての人々がそれぞれの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す。障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。			活動指標	指標名(1)		「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数							
					指標名(2)		「ふれあい美術展」出展数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。障害者の生活支援サイト「のーまらいふ杉並」を運営する。「心身障害者のてびき」を3年ごとに発行する。「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。障害者基礎調査を3年ごとに実施する。			成果指標	指標名(1)		障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」年間アクセス数								
					指標名(2)		障害者福祉推進連絡協議会開催回数								
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	組	44	50	43	50	48	50	96.0					
	活動指標(2)	2	点	243	300	236	300	278	300	92.7					
	成果指標(1)	3	件	133,855	200,000	170,052	210,000	197,525	210,000	94.1					
	成果指標(2)	4	回	3	3	3	3	3	2	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	16,689	3,559	3,252	2,668	2,103	20,771	平成30年度予算執行率(%)	78.8				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	6,294	150	110	150	60	10,885	平成30年度は、障害者福祉推進連絡協議会の委員謝礼、点字筆耕経費等が当初予定より少なく済んだため執行残となりました。					
	職員数	常勤職員数	8	人	2.00	1.80	1.80	1.80	1.80	2.00	令和元年度は、3年に一度の「心身障害者のてびき」の作成(12,172千円)、障害者基礎調査(6,880千円)に伴う経費が増となりました。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.40	0.40	0.40	0.50	0.40					
	人件費	常勤職員分	11	千円	17,124	15,412	15,464	15,464	15,167	16,852					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	594	1,188	1,178	1,178	1,545	1,236					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	34,407	20,159	19,894	19,310	18,815	38,859						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	781,977	403,180	462,651	386,200	391,979	777,180						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源(14-20)		21	千円	34,407	20,159	19,894	19,310	18,815	38,859						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		189	
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	障害者週間事業の開催			951
		障害者福祉推進連絡協議会の開催			249
	(2) 事業実績	その他（管理事務費・郵送費ほか） 903			
		障害者福祉関連情報に特化したサイト「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報がタイムリーに提供できるよう努めました。また、平成30年12月には、区と障害者団体連合会が共催して障害者週間事業を実施し、ふれあいフェスタ、ふれあい美術展、団体・施設の活動パネル展などを開催しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「うるフェスタ」が平成21年度で終了となりました。平成25年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」が施行されたことにより三障害に難病等が追加され、障害福祉サービス等の対象者が拡大しました。平成28年4月から、障害者差別の解消に向けて「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求める「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	家族や障害者本人の高齢化や障害の重度化等、障害者の実態に合わせた施策を実施するとともに、サービスや制度の変更に際しては、迅速かつ正確な情報の提供を実施していく必要があります。また、法律等がたびたび改正される中で、これらに関する情報がない、知らなかったという声がありました。平成28年度に実施した障害者基礎調査では、調査に回答した半数以上の障害者が、障害に対する偏見を感じていると回答しました。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	障害者関連の情報に特化した障害者支援サイト「のーまらいふ杉並」や、情報誌である「障害者のてびき」の発行にあたっては、障害特性に合わせた情報提供に努めていきます。地域の人々への障害理解に向けた取組を進めていますが、障害者の生活に関わる様々な場面で、障害を理由とした差別的対応などはなくなる状況です。今後も、サイトやイベントなど様々な方法で、より多くの区民・事業者等に障害特性の理解や合理的配慮の提供の促進に向けた働きかけを積極的に行っていきます。			
	評価と課題	障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」は、障害者へ最新の情報を提供する有効なツールです。障害者向けに特化したサイト内容や等級AAのウェブアクセシビリティ等の独自性を維持しながら、より障害者福祉関連の情報を集約し、わかりやすく発信していきます。また、令和元年度は3年に一度の「心身障害者のてびき」の発行年度であり、より障害特性に合わせた情報の提供など、様々な媒体で発信できるよう検討していきます。また、「ふれあいフェスタ」を始めとした障害者週間事業については、平成30年度は小中学校の児童生徒がいる全世帯にチラシを配布しました。今後もより多くの区民の意識啓発につながるような周知方法やイベント内容となるよう努めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	令和元年度は「心身障害者のてびき」と「障害者実態調査」という3年に一度行う事業があり経費が拡大しますが、令和2年度はその経費が減となります。ふれあいフェスタでは、障害のある方とない方の交流を契機に、地域で社会生活を営む障害のある方等に対する理解を更に深めるためのイベントなどにより、より多くの区民が参加できるよう実施方法などを検討していきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00179)

事務事業名称		障害者団体への助成			款	04	項	01	目	03	事業	008	整理番号	190	
現担当課名		障害者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	192		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度													
	平成30年度担当課名	障害者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体			根拠法令等	(1)		障害者基本法第3条、第4条							
						(2)		杉並区心身障害者団体助成要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。			活動指標	指標名(1)		団体の事業開催回数							
					指標名(2)		団体事業活動の参加者数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。			活動指標	指標名(1)		活動参加者数対前年度比								
					指標名(2)		指標説明								
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	115	115	129	133	131	133	98.5					
	活動指標(2)	2	人	2,750	2,800	1,782	2,682	2,582	2,611	96.3					
	成果指標(1)	3	%	101.2	99.4	64.8	95.8	144.9	97.4	151.3					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	9,552	9,999	9,377	11,342	10,451	10,762	平成30年度予算執行率(%)	92.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	5	8	8	8	8	8						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10					
	人件費	常勤職員分	11	千円	8,562	8,562	8,591	8,591	8,426	8,426					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	297	294	294	309	309					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	18,114	18,858	18,262	20,227	19,186	19,497						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	157,513	163,983	141,566	152,083	146,458	146,594						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	18,114	18,858	18,262	20,227	19,186	19,497						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	190
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		心身障害者団体への運営経費の助成	15	団体	9,439
		ふれあい運動会負担金の支出	1	回	1,000
		その他（ふれあい運動会準備費、消耗品の購入、郵券購入ほか）			12
(2) 事業実績	心身障害者団体への運営経費等の一部を助成することにより、障害者の方々のより積極的な社会参加の機会の提供につながることができています。団体の活動数と活動に参加した人数は平成29年度に比べ増えています。なお、増えた要因は、平成29年度にふれあい運動会が悪天候のため中止となり、活動に参加した人数が少なかったことによります。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	心身障害者団体（助成団体）は、当初10団体から始まり、平成22・23年度は15団体、平成24年度からは16団体、平成25・26年度からは15団体、平成27年度は14団体、平成28・29・30年度は15団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。 親子スポーツ教室に対する助成は、平成20年度で終了しました。 ふれあい運動会は東京オリンピックが開催された昭和39年に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、区からの団体助成について維持を望む声が強いです。特に、その時々々の社会情勢や各団体の実情など、より実態に即した支援が望まれています。 各事業には一般区民や学生が多くボランティア等として参加しており、障害理解、福祉教育及びボランティア育成の足がかりとしても意義のあるという声が多く聞かれています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	年齢の若い障害当事者は団体に加入することに積極的でないこと、また現会員の高齢化も相まって、会員数、実活動人数の減少が顕著となっています。個々の団体に対し適切に支援をしていくことに加え、障害者団体連合会やその他の関係機関と連携しながら、団体活動の周知や障害のある人、無い人を含めた交流の場を広げていきます。そして障害者が住み慣れた地域でいきいきと社会参加ができるよう、団体活動の活性化に努めていきます。			
評価と課題	団体助成については、団体活動の一助として、その時々々の社会情勢や団体の実情に見合った適切な支援ができるよう、適宜、運営事務経費等助成金分配基準等の見直しを図っていきます。また、多くの団体では会員の高齢化等により会員数の減少がみられます。障害者の自立や社会参加の機会を広げる場として団体活動は大切であり、財政支援だけでなく活動が活性化できるよう働きかけていきます。 ふれあい運動会は、障害のある人もない人もともに参加し、交流することができる場となっており、障害者の積極的な社会参加の推進や相互理解に寄与しています。また、中学生ボランティアが参加するなど、誰もが共生できる地域社会づくりに貢献しており、今後も障害者団体、区民とともに事業の発展に努めていきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	障害者団体活動は、障害者の社会参加だけでなく、障害の有無にかかわらず互いに親睦を深め、情報を共有することができるなど、障害者が地域の中で生活していく上で非常に有効な活動です。また、区にとっても、障害者の意見や要望を収集できる貴重な情報源となっていることから、今後も実態に即した支援を継続していきます。 一方で、多くの団体では高齢化などにより活動自体が硬直化している部分も見受けられるので、財政支援のみならず、団体活動の周知を図ることで新規会員の加入につなげ、団体活動の活性化を図ることができるよう働きかけを行っていきます。また、助成申請などの手続きについても障害者団体連合会等と連携しながら、わかりやすい案内に努めていきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00181)

事務事業名称		障害者通所施設支援事業			款	04	項	01	目	03	事業	010	整理番号	191	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	193			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成19年度													
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分 一般										
	対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
						(2)		杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。			活動指標	指標名(1)		送迎サービス対象施設数							
					指標説明		障害福祉サービス事業所施設数								
					指標名(2)		障害福祉サービス事業所施設数								
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。			成果指標	指標名(1)		送迎サービス利用施設通所者数								
					指標説明		障害福祉サービス事業所通所者数								
					指標名(2)		障害福祉サービス事業所通所者数								
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 所	6	6	5	6	5	7	83.3						
	活動指標(2)	2 所	28	28	30	30	31	33	103.3						
	成果指標(1)	3 人	62	60	54	60	59	71	98.3						
	成果指標(2)	4 人	1,244	1,063	1,233	1,086	1,257	1,121	115.7						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	419,733	454,215	430,019	455,188	432,227	469,718	平成30年度予算執行率(%)	95.0					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	17	23	22	23	20	23							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.57	0.57	0.54	0.54	0.54	0.84						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11 千円	4,880	4,880	4,639	4,639	4,550	7,078						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	589	589	618	618						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	424,613	459,095	435,247	460,416	437,395	477,414							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	70,768,833	76,515,833	87,049,400	76,736,000	87,479,000	68,202,000							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	249,361	249,921	258,938	259,086	262,463	283,740						
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	249,361	249,921	258,938	259,086	262,463	283,740							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	175,252	209,174	176,309	201,330	174,932	193,674							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	191
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		通所サービス利用促進事業(送迎サービス支援)の実施	5	所	5,516
		日中活動系サービス推進事業の実施	31	所	261,169
		訓練等給付交通費等助成	32	所	47,023
		訓練等給付施設借上費助成ほか	16	所	118,471
		その他(事務費、郵送料)			48
(2) 事業実績	<p>施設に対して運営費等の助成を行うことで円滑な運営が行われています。 平成30年度は事業所の新規開設が1所あったため、助成対象施設数が増加しています。送迎サービス支援については、送迎サービス利用者の増加に伴い、送迎加算額が区の補助基準額を超えたため交付に至らない事業所が2所ありました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>この事業は、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設整備費助成」、利用者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」、利用者の送迎支援を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」等に対する運営費補助事業です。送迎支援事業として、平成20年度以降は車両購入費を除いた人件費等の運営費を助成しました。さらに平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎加算額を差し引いた額を補助しました。平成27年度には障害福祉サービス等報酬改定によって送迎加算が見直されました。平成23年度末をもって、障害者総合支援法に基づく新体系への移行が完了しました。現在は移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>通所施設の増設など、日中活動の場を確保するとともに、今後も通所にかかる交通費の補助を継続してほしいとの声が寄せられました。 また、高齢化・重度化に伴い、自主通所が困難となっている施設利用者に対しても送迎サービスの提供を求める声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>各事業所が補助金に頼らない自立した運営を行うことが期待されます。一方で、利用者の高齢化・重度化に伴い、利用者の送迎サービスの需用が高まっていくことが予想されます。 今後は、通所者の負担軽減なども考慮しつつ、各事業所が補助金に頼らない自立した運営ができるよう働きかけていきます。</p>			
評価と課題	<p>障害者自立支援法(現在の障害者総合支援法)が平成18年に施行されてから、旧法施設、小規模作業所等の新体系への移行が平成23年度で完了し、各事業所の運営も安定してきました。 一方で、利用者の高齢化・重度化に伴い、利用者の送迎サービスの需用が高まることを見込まれますが、現制度においては、対応が困難なため、他の福祉サービスの活用も含め対応策を検討します。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>本事業は、各施設の安定した自立運営を支援するため、運営費等の補助を行っています。 令和元年度に重度通所施設2所が開設することから、運営費等が増加します。 施設利用者の高齢化・重度化に伴い、送迎サービス支援の需要が高まっていることを踏まえて、国や東京都、近隣区市の動向に注視しつつ、施設の実態にあった補助内容について検証を行います。また、補助金の執行事務処理体制を見直し、より適正な支給事務に努めます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00182)

事務事業名称			公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団				款	04	項	01	目	03	事業	011	整理番号	192					
現担当課名		障害者生活支援課		係名		管理係		連絡先電話番号		2275		昨年度整理番号		194							
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業						
事務事業の概要	事業開始		平成10年度		実行計画事業		目標 04		施策 16		計画事業 02										
	平成30年度担当課名		障害者生活支援課										事業評価区分		一般						
	対象		公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団				根拠法令等		(1)		杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例										
									(2)		障害者の雇用の促進に関する法律										
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。				活動指標		指標名(1)		雇用支援対象者数(就労移行支援事業登録者数+新規登録者数)										
										指標説明		職場定着支援件数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。				成果指標		指標名(1)		就職者の割合											
										指標説明		事業団からの就職者数÷雇用支援対象者数									
										指標名(2)		過年度からの継続就労者									
										指標説明		4月1日時点の利用者のうち、過年度に就職して4月1日時点で就労が継続している者の数									
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度									
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標	活動指標(1)		1 人		137		130		146		135		125		135		92.6				
	活動指標(2)		2 件		5,615		6,000		5,070		6,000		6,380		6,900		106.3				
	成果指標(1)		3 %		45.3		70		45.9		70		50.4		70		72.0				
	成果指標(2)		4 人		462		500		512		535		545		575		101.9				
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		79,796		86,098		78,228		85,940		82,271		88,975		平成30年度 予算執行率(%)		95.7		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項				
	(内)委託費		7 千円		66,490		72,496		64,824		72,343		68,674		72,826						
	職員数	常勤職員数		8 人		0.69		0.69		0.54		0.75		0.54		1.29					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		5,908		5,908		4,639		6,443		4,550		10,870					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0					
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		85,704		92,006		82,867		92,383		86,821		99,845						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		625,577		707,738		567,582		684,319		694,568		739,593						
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		2,342		2,387		2,368		2,326		2,326		2,360					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		2,342		2,387		2,368		2,326		2,326		2,360							
差引:一般財源(14-20)		21 千円		83,362		89,619		80,499		90,057		84,495		97,485							
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 192			
		内容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営費助成			13,597
		区市町村就労支援事業委託			68,674
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>雇用支援については、平成30年度新規登録者が109名（前年比25名減）、内訳として、就労・生活支援事業が102名（同16名減）、法内の就労移行支援事業利用者が7名（同9名減）でした。</p> <p>一方、定着支援については延べ相談件数が6380件（前年比1310件増）、1名当たりの平均相談回数は約11回（同約2回増）と増加しています。</p> <p>雇用支援事業団の利用者のうち平成27年度中に就労し、平成30年度末時点で3か年の就労を継続している者は28名あり、当該年度に就労した全体数の42.4%となっています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>【民間企業における法定障害者雇用率】</p> <p>平成16年：1.8% 平成25年：2.0% 平成30年：2.2%</p> <p>障害者の雇用促進のため、段階的に雇用率が引き上げられたように、国の障害者雇用施策の強化が進んでいます。平成24年度には障害者雇用促進法の改正により、委託事業の一部が、雇用支援センターから法内の就労移行支援事業に移行しています。平成25年度には財団法人から公益財団法人へと移行しました。近年、知的障害、身体障害、精神障害の主要3障害に加え、高次脳機能障害、発達障害のある方からの相談も増加し、その内容も多岐に渡っています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病など個々の障害特性に応じた就労支援が求められています。また、特別支援学校等の教育機関から就労するケースが増えており、就労情報の提供や卒業後の定着支援が求められています。</p> <p>就労している障害者からは、余暇や集いの場を通じての仲間づくりや、個別の定着支援、高齢化に伴う相談支援等の要望があります。</p> <p>雇用している企業からは、きめ細かい支援や情報提供を必要とされています。</p> <p>地域の障害者施設等からは、地域での働く場の開拓や、就労支援の更なる充実が期待されています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>就労移行支援事業所の増加や法内の就労定着支援サービス開始など、就労に関わる支援体制が充実していく一方、発達障害や高次脳機能障害、難病、高齢障害者など、対象は広がりを見せ、個々のニーズが多様化しています。区内就労支援の核を担う雇用支援事業団の果たす役割を明確化し、各事業の充実に取り組みます。</p>			
	評価と課題	<p>民間の就労支援事業所の増加や、ハローワーク等他機関の障害者雇用相談窓口も充実してきていることから、雇用支援事業団の登録者は減少しています。</p> <p>一方、定着支援の件数自体は増加しています。就労後のきめ細やかな支援の継続を行うことでより長く就労できるよう質の高い定着支援に努めます。</p> <p>今後は、民間事業所との役割分担を明確にし、より専門性が必要な支援、多様化するニーズに応えられる支援力の強化を図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者雇用が進み雇用支援事業団には、より専門性の高い支援や、多様な働き方への対応が求められています。就労支援を行う民間事業所が増えることでそれぞれの役割分担を明確にし、公益性の高い事業に取り組みます。具体的には、より重い障害のある方や、短時間労働の希望者など民間事業所では支援の困難な方の就労支援を行っていくことで、新たな障害者の雇用につなげていきます。合わせて、多様な働き方に対応する職場の開拓、都やハローワーク、区内事業所など就労支援に関するネットワークの強化をさらに進めていきます。</p> <p>定着支援に関しては、就労者の就労状況に合わせて企業との間に入り支援を行っていきます。定着支援を行い長期雇用がされている方には、緩やかな支援に移行するナチュラルサポートにも取り組みます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00188)

事務事業名称 障害者福祉タクシー等			款 04	項 01	目 03	事業 017	整理番号 197			
現担当課名 障害者施策課		係名 障害者福祉係	連絡先電話番号 1145		昨年度整理番号 199					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度								
	平成30年度担当課名	障害者施策課				事業評価区分 一般				
	対象	移動の困難な心身障害者で、各事業の要件に該当する方		根拠法令等 (1) (2)	杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	移動に要する費用の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を支援する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	福祉タクシー券利用者数 燃料費助成対象人数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	月5,300円分の福祉タクシー券を支給する。 月62リットルを上限にガソリン代を1リットル当たり50円(軽油30円)助成する。 身体障害者手帳又は愛の手帳の所持者で、常時車いすを利用する方及び寝たきりの方を対象に、リフト付タクシーに利用できる補助券を支給する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	発行した福祉タクシー券の利用率 支払済み乗車料金÷発行した福祉タクシー券の額面総額					
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画 (目標値)	平成30年度 実績	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	6,568	6,700	6,653	6,620	6,576	6,600	99.3	
	活動指標(2)	2 人	1,703	1,750	1,676	1,745	1,649	1,700	94.5	
	成果指標(1)	3 %	86.0	85	83.8	82	99.7	90	121.6	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	346,599	348,894	346,028	362,814	360,276	343,182	平成30年度 予算執行率(%) 99.3	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 タクシー券の支給方法を変更し有効期限を一旦平成31年3月31日までにしたことにより、駆け込み需要が年度末に急増し利用率が著しく高まりました。	
	(内)委託費	7 千円	309,473	306,768	306,663	322,117	321,786	304,539		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.45	1.20	1.60	1.20	2.10		1.60
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	1.23	1.00	1.00	1.00	1.00		1.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	12,415	10,274	13,746	10,309	17,695		13,482
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	3,654	2,971	2,944	2,944	3,089		3,089
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	362,668	362,139	362,718	376,067	381,060	359,753		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	55,217	54,051	54,519	56,808	57,947	54,508		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	3,100	3,108	3,101	3,100	3,100		3,100
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	3,100	3,108	3,101	3,100	3,100	3,100		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	359,568	359,031	359,617	372,967	377,960	356,653		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	197	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		タクシー乗車券の支給	6,576	人	303,673	
		リフト付タクシー補助券の支給	950	人	14,659	
		自動車燃料費の助成	1,649	人	30,352	
		その他（支給事務費）				11,592
	(2) 事業実績	平成30年度は、4,763冊の福祉タクシー券を発行し、リフト付きタクシー補助券の累計利用回数は15,844回、自動車燃料費助成は平成30年度末現在1,649人の登録があります。福祉タクシー券やリフト付きタクシー補助券の受給者数は、ここ数年横ばい傾向にあります。なお、自動車燃料費助成の受給者数は停止していた利用者への現況届を再開した平成28年度から減少傾向にあります。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	福祉タクシー券の利用登録者数は、制度開始以降これまでの間増加を続けてきましたが、ここ数年は横ばい傾向となっています。リフト付タクシー補助券は、平成21年4月から車いす補助券及びストレッチャー補助券の発行方法等を変更したことに伴い、協定事業者が増加したため、利用の機会が拡大され利用回数が伸びています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	福祉タクシー券は支給額の増額や障害の程度に応じた金額加算の要望、精神障害者にも対象を広げてほしいとの要望が寄せられています。自動車燃料費助成についても、助成額を増やしてほしいとの声が寄せられています。同時に、助成に対して多くの区民の方から感謝の声が寄せられています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	福祉タクシー券の受給者数は横ばい傾向となっていますが、平成30年度の新規申込者は600人程度となっており、そのうち約6割が65歳以上となっています。今後も高齢者人口の増加に伴い、65歳以上の利用者の比率が高まることが予想されます。障害者の社会参加の促進により外出機会が増加するとともに、移動に関する支援の方法も多様化しています。特に障害者の外出支援についてはガイドヘルパーによる支援ニーズが高まっており、多様なニーズに対応できるよう総合的な見直しを図る必要があります。				
	評価と課題	福祉タクシー券の有効期間と次回申請時期の関係が分かりづらいという声があげられていたため、平成31年度4月利用分から券の斉発送という形に変更し、令和2年度以降は、券の有効期間にあわせて次回申請時期を設定しました。今後も利用実態の把握に努め、適正な支給を行ってまいります。制度開始から大きな見直しもなく25～40年経過していることから、この間の利用者を取りまく状況の変化を踏まえ、事業の見直しを図ってまいります。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	有効期限の終期が重なった30年度は一時的に利用が増加しましたが、令和2年度は令和元年度と変わらない予算規模となる見込みです。あわせて、目的に沿った効果的な利用がなされるよう事業の見直しにあたっては、利用実態の把握や他自治体の同事業の分析を行い、検討を進めていきます。				

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00198)

事務事業名称 障害者福祉会館事業運営			款 04	項 01	目 03	事業 027	整理番号 207			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 209				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度								
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般				
	対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。 障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	会議室の利用件数 会議室の利用延べ人数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託する。 福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	会議室の開館日に対する利用率 利用回数÷年間利用可能部屋数					
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画 (目標値)	平成30年度 実績	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	3,682	4,000	4,079	4,000	3,902	4,000	97.6	
	活動指標(2)	2 人	47,277	56,000	51,820	56,000	53,372	56,000	95.3	
	成果指標(1)	3 %	51.0	60	56.3	60	53.9	60	89.8	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	68,972	70,744	68,912	70,814	69,448	72,689	平成30年度 予算執行率(%) 98.1	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	63,162	66,145	64,314	66,715	65,350	68,222		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.46	0.46	0.43	0.43	0.43	0.43	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,939	3,939	3,694	3,694	3,623	3,623	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	72,911	74,683	72,606	74,508	73,071	76,312		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	19,802	18,671	17,800	18,627	18,727	19,078		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	72,911	74,683	72,606	74,508	73,071	76,312		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		207	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		管理運営委託			
		区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成			3,000
		運営協議会運営補助			1,095
		送迎用バス運行業務委託			25,282
		その他(会館運営事務費)			17
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	障害者福祉会館運営協議会へ施設の運営管理を委託しています。主な業務としては、障害者による貸室の受付業務や館内清掃業務です。また、福祉会館まつりやレクリエーション等の協議会の自主事業に対し助成を行っています。各種の催し物には毎年安定的に参加があり、特に福祉会館まつりには1,400名以上の参加がありました。			
		障害者福祉会館運営協議会は従来から区の委託事業とは別に、自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきました。しかし平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。また、利用者送迎用バス運行業務委託については運営協議会への委託費での契約から、平成28年1月より区との長期継続契約に変更となっています。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	障害者福祉会館運営協議会は従来から区の委託事業とは別に、自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきました。しかし平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。また、利用者送迎用バス運行業務委託については運営協議会への委託費での契約から、平成28年1月より区との長期継続契約に変更となっています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	各種講座や教室等に多くの方が参加しやすいよう、内容の充実が求められています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	障害者福祉会館で実施している講座やまつりなどを通して、障害者やその家族と区民との交流が促進されています。また、障害者のニーズに即した講座等が開催され、多くの障害者やその家族、支援者等の利用が増えています。			
評価と課題		運営協議会は、区からの受託事業として手話講習会を実施し、手話通訳者等の養成に貢献しています。また、パソコン講習会等、障害者の自立や社会参加を促進する事業も行い、区の障害者支援事業において重要な役割を担っています。平成30年度の会館利用者数は、増加していますが、会館利用登録障害者団体構成員が高齢化しているため、今後の会館利用者数は減少すると見込まれます。そのため、運営協議会と連携して、障害当事者や支援者が活動するための拠点として、より一層障害者支援の推進と会館運営の充実を図り、利用者の増加に努めます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	運営協議会と協議を行い、各種講習会や催し物等の内容の充実や貸室利用率の向上を図っていきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00199 ）

事務事業名称		視覚障害者会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	028	整理番号	208	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	210			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度													
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般									
	対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	三療（はり、きゅう、マッサージ）の免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、 開業若しくは雇用されるよう自立の支援を行う。			活動指標	指標名（ 1 ）		三療（はり、きゅう、マッサージ）の利用者数							
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託する。 三療（はり、きゅう、マッサージ）の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行う。			成果指標	指標名（ 1 ）		利用率								
					指標名（ 2 ）										
					指標説明		三療施術実施時間 ÷ 年間三療施術実施可能時間								
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（ 1 ）	1 人	1,427	1,700	1,279	1,700	1,340	1,500	78.8						
	活動指標（ 2 ）	2													
	成果指標（ 1 ）	3 %	26.1	30	23.4	30	24.2	30	80.7						
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	13,666	16,791	14,023	15,848	14,661	17,000	平成30年度 予算執行率(%)	92.5					
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	13,666	16,791	14,023	15,848	14,661	17,000							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.23	0.23	0.22	0.21	0.22	0.22						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,969	1,969	1,890	1,804	1,854	1,854						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	15,635	18,760	15,913	17,652	16,515	18,854							
	単位当たりコスト (14-6) ÷ 1	15 円	10,957	11,035	12,442	10,384	12,325	12,569							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	4,918	6,112	5,112	5,941	0	6,371						
		都からの補助金等	18 千円	2,459	3,062	2,556	2,970	0	3,186						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	7,377	9,174	7,668	8,911	0	9,557							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	8,258	9,586	8,245	8,741	16,515	9,297							
受益者負担比率 (16 ÷ 14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 208

平成30年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	管理運営委託		
(2) 事業実績	<p>視覚障害者会館は、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に運営を委託し、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助のための点字講習会、料理講習会、三療施術講習会、文化講座等の開催及び三療施術を実施しています。</p> <p>民間によるマッサージ等の施術所が増加したことや登録施術者の高齢化により、視覚障害者会館の三療施術利用者数は、ここ数年減少していましたが、平成30年度は増加しています。</p>			

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>運営委託管理者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、杉並区視覚障害者福祉協会です。創立以来80年の伝統ある任意団体です。当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深くかかわってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の管理運営等を行なってきましたが、平成27年度からは運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会館が実施している各種講座、三療施術講習会は利用者に概ね好評です。</p>
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>視覚障害者に特化した支援の場として、これまでの実績を生かした運営に取り組んでいます。</p>
評価と課題	<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が、障害特性への理解や配慮など専門的な知識や経験を生かした運営を着実に進めています。</p> <p>新たに音声対応のアプリケーション利用教室等を実施するなど、会館利用者の増加に取り組んでいます。</p>	

翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	<p>I 事業コストの方向性 現状維持</p> <p>II 事業の改善の方向性 手段・方法の見直し（改善）</p>
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、各種講座等を実施することで、視覚障害者の社会参加等の支援を推進します。また、施設の設置目的や運営方法等を踏まえて、委託法人と連携し利用者の増加に向けて各種講座等の内容の充実等を図っていきます。</p>

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00200 ）

事務事業名称 障害者交流館運営			款 04	項 01	目 03	事業 029	整理番号 209			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 211					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成 7年度								
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課		事業評価区分 一般						
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。		活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	利用回数 利用人員					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等を杉並区障害者団体連合会に委託する。		成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	利用率 利用時間数 ÷ 年間利用可能時間数					
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画 実績		平成30年度 計画 実績 （目標値）	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)		
指標	活動指標（ 1 ）	1 回	4,044	4,000	3,814	4,000	3,619	4,000	90.5	
	活動指標（ 2 ）	2 人	54,667	56,000	52,756	56,000	50,771	56,000	90.7	
	成果指標（ 1 ）	3 %	52.8	60	49.5	60	47.4	60	79.0	
	成果指標（ 2 ）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	35,137	39,958	34,060	37,976	35,634	39,943	平成30年度 予算執行率(%) 93.8	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		特記事項
	（内）委託費	7 千円	35,048	39,958	34,060	37,976	35,634	39,943		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.23	0.23	0.22	0.21	0.22	0.22	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,969	1,969	1,890	1,804	1,854	1,854	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	37,106	41,927	35,950	39,780	37,488	41,797		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	9,176	10,482	9,426	9,945	10,359	10,449		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	37,106	41,927	35,950	39,780	37,488	41,797		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	209
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託（和田）			15,114
		管理運営委託（高円寺）			20,520
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の事業運営は、杉並区障害者団体連合会に委託しています。 和田及び高円寺障害者交流館は、障害者を主体とした団体等に施設の貸し出しを行っています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>和田障害者交流館は平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館は平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託していました。平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として、和田障害者交流館と合わせて管理運営等を行ってまいりましたが、平成24年度から運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。 高円寺交流館は、障害者団体等以外に目的外使用として一般区民にも開放しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特段意見・要望はありません。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流や余暇活動を促進する場としての役割を推進しています。 今後も障害者や支援者の活動の場として、また、地域の方々との交流の場としての役割を担っていきます。</p>			
評価と課題	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供しています。 高円寺交流館においては、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、会議室を広く一般に開放し、地域に密着した障害者施設として運営しています。 会議室の利用率低下については、利用する団体構成員の高齢化等により団体活動回数の減少や団体活動への参加者が減少によるものです。 和田交流館の利用率が低い状況が続いていることから、併設の和田区民集会所の状況を踏まえ、施設の利用方法等について検討を行います。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者交流館は、今後も障害者や支援者の活動及び地域との交流の場としての役割を担ってまいります。 また、運営実態等を踏まえ事業内容について委託事業者と協議し、効率的で効果的な運営がなされるように努めます。</p>				

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00201)

事務事業名称			すぎのき生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	210	
現担当課名			障害者生活支援課				係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953	昨年度整理番号	212		
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度															
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	一般				
	対象	すぎのき生活園利用者 (利用者=重度知的障害者)				根拠法令等	(1)		(2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園運営要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害程度の重い知的障害者に対し、日常生活の援助や各種活動の提供・支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。				活動指標	指標名(1)		指標説明		日常生活支援活動における利用者数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	日常生活動作(更衣・排泄・食事・移動等)への支援や介助を行う。 回収、リサイクル、軽作業、ウォーキング、畑作業、陶芸等の活動を行う。 機能訓練、自立能力向上への支援を行う。 送迎バス・給食を提供する。 健康管理、各種検診の実施、栄養指導を行う。 各種行事の実施と地域との交流を進める。				指標名(2)	指標説明		日常生活支援活動における延べ利用者数								
成果指標	指標名(1)		指標説明		成果指標		指標名(1)		指標説明		指標名(2)		指標説明		成果のあった利用者÷利用者数		
														出席率		延べ通所人数÷(登録者数×開所日)	
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	人	84	84	84	82	82	84	100.0							
	活動指標(2)	2	人	17,350	18,446	17,763	18,000	17,173	18,446	95.4							
	成果指標(1)	3	%	98.0	100	98.8	100	98.5	100	98.5							
	成果指標(2)	4	%	85.0	90	85.6	90	82.8	90	92.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	104,812	106,314	103,198	118,095	99,062	106,836	平成30年度予算執行率(%)	83.9						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	87,421	88,980	88,233	109,231	91,395	96,887	前年事業費増及び執行率90%未満の理由 職員の欠員等にに伴い(人材)派遣委託費による増ですが、常勤職員が配置できたことによる派遣委託費の執行の残です。							
	職員数	常勤職員数	8	人	44.24	44.00	43.57	44.00	47.02	46.00							
		再任用職員数	9	人	1.07	1.05	1.08	2.00	1.06	2.00							
		非常勤職員数	10	人	2.00	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	378,783	376,728	374,310	378,004	396,191	387,596							
		再任用職員分	12	千円	4,697	4,610	4,782	8,856	4,700	8,868							
		非常勤職員分	13	千円	5,942	5,942	5,888	2,944	6,178	6,178							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	494,234	493,594	488,178	507,899	506,131	509,478								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,883,738	5,876,119	5,811,643	6,193,890	6,172,329	6,065,214								
	財源	受益者負担分	16	千円	203,933	212,420	209,479	212,400	200,877	211,365							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	203,933	212,420	209,479	212,400	200,877	211,365								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	290,301	281,174	278,699	295,499	305,254	298,113								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	41.3	43.0	42.9	41.8	39.7	41.5									

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	210
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		送迎用バス運行業務委託	244	日	62,843
		給食調理業務委託	243	日	28,053
		日常生活活動	82	人	2,270
		利用者健康管理	82	人	3,224
		その他(宿泊行事、杉実祭、社会見学 ほか)			2,672
(2) 事業実績	4月から特別支援学校卒業生2名を加え、利用者82名に対し個別支援計画に基づき、更衣・排せつ・食事・歯磨き・移動などの支援や介助、健康活動や機能維持のための支援、利用者の特性や興味などに合わせた活動の提供、送迎バスや給食の提供、各種の検診や健康管理、栄養指導や必要に応じた相談支援を行っています。また、社会見学や杉実祭の実施、地域の行事に参加するなど地域住民と交流を深める取組を実施しています。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	東京都杉並児童学園を前身として、昭和55年に区へ移管され、平成21年に障害者自立支援法に基づく生活介護施設、平成25年度には障害者総合支援法に基づく生活介護施設として運営しています。障害の多様化、重度化が進む中で、行政、民間ともに各種サービスが拡充し、グループホームから通う利用者も増加しています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	老朽化に伴う施設改修、送迎バスの拡充、宿泊事業の継続、相談支援の充実、福祉支援所の円滑な運営について、当園保護者会から要望が出ています。すべての利用者に対してサービス等利用計画を作成することになり、特定相談事業所との連携強化が求められています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	施設利用者の3分の1が重複障害者であり、高齢化により機能低下している利用者や民間施設で対応が難しい利用者の移行が増えています。また支援が必要な家族の増加により支援業務の範囲が広がっています。障害の重度化・重複化が進む中、利用者が安全に過ごし適切な支援を行うためには集団規模の縮小と、障害に応じた設備の更新に取り組みます。集団規模の適正化を図るには、区立施設利用者の一定数を民間施設に移行するよう利用者へ働きかけていきます。公立施設と同等な設備・サービスが整った施設を整備することと併せて、重度知的障害者の支援ノウハウに関する民間施設への支援力を高める取組に努めます。			
	評価と課題	すぎのき生活園は重度知的障害者84名という大規模施設であり、多様な活動やプログラムが提供され、地域に根ざした施設づくり等の評価を得ています。一方では高齢化や障害の重度化、強度行動障害で1:1以上の対応が必要な利用者が増える中、安全で適切な支援を実施するために、現在の集団規模を見直し適正な規模へ縮小を図ります。また、今後整備が進む民間施設と協働しながら重度知的障害者の日中活動の場を確保するとともに高い支援力を持った人材育成が急務となっています。民間施設は重度知的障害者の支援ノウハウを持っていない施設が多く、今後は支援技術の提供など民間施設へ支援体制の構築に取り組みます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	杉並区行財政改革推進計画における「区立障害者通所施設の役割の見直しと民間施設への支援」の計画に基づき、すぎのき生活園を含む区立障害者施設の今後のあり方について検討を進めます。区立施設利用者の民間施設への移行を一定程度進めるためには、地域割りなどの区の考え方を踏まえ、利用者や家族の理解が得られるよう働きかけていきます。民間施設への支援については、重度知的障害者のノウハウを伝えながら、それぞれが支援力の向上が図られるよう意見・情報交換しながら支援のあり方を検討します。			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00202)

事務事業名称			こすもす生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	211	
現担当課名			障害者生活支援課				係名			こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	213
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成5年度														
	平成30年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分		一般								
	対象		こすもす生活園の利用者 (利用者) = 重度身体障害者				根拠法令等		(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律						
									(2)		杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。				活動指標		指標名(1)		登録者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数						
										指標説明		延べ利用者数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を策定し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談・支援、地域交流・広報活動などを行う。				成果指標		指標名(1)		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合							
										指標説明		成果のあった利用者 ÷ 利用者数					
										指標名(2)		出席率					
										指標説明		延べ通所人数 ÷ (登録者数 × 開所日)					
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	人	26	26	28	28	27	30	96.4						
	活動指標(2)		2	人	4,953	5,856	5,028	5,832	4,719	5,856	80.9						
	成果指標(1)		3	%	96.0	100	96.0	100	92.0	100	92.0						
	成果指標(2)		4	%	84.0	85	85.0	85	80.0	85	94.1						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	55,941	55,106	54,443	55,439	54,327	57,241	平成30年度 予算執行率(%)	98.0					
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費		7	千円	50,508	51,261	50,864	51,510	50,755	52,738							
	職員数	常勤職員数		8	人	18.14	18.00	16.67	17.00	17.01	17.00						
		再任用職員数		9	人	1.00	2.00	2.12	1.00	1.02	1.02						
		非常勤職員数		10	人	2.00	2.00	2.00	3.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	155,315	154,116	143,212	146,047	143,326	143,242						
		再任用職員分		12	千円	4,390	8,780	9,387	4,428	4,523	4,523						
		非常勤職員分		13	千円	5,942	5,942	5,888	8,832	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	221,588	223,944	212,930	214,746	202,176	205,006							
	単位当たりコスト((14-6) ÷ 1)		15	円	8,522,615	8,613,231	7,604,643	7,669,500	7,488,000	6,833,533							
	財源	受益者負担分		16	千円	71,003	70,361	68,553	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	71,003	70,361	68,553	0	0	0								
差引：一般財源(14-20)		21	千円	150,585	153,583	144,377	214,746	202,176	205,006								
受益者負担比率(16 ÷ 14)		22	%	32.0	31.4	32.2	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	211
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		送迎用バス運行業務委託	244	日	37,452
		給食調理業務委託	244	日	13,388
		利用者健康管理	27	人	816
		医療的ケア	5	人	1,358
		その他（日常生活活動・行事特別活動ほか）			1,313
	(2) 事業実績	3台の通所バスにより安定した送迎サービスを行っています。給食サービスについては、4形態食（常食・常軟食・やわらか食・ペースト食）を提供し、摂食嚥下機能の向上と維持に取り組んでいます。嘱託医師（内科・小児神経科・皮膚科・整形外科・摂食・心療内科）による健康相談及び眼科耳鼻科の検診を実施し、健康管理に努めています。また医療的ケア対象者には指導医の助言を受けながら、適切なケアを実施しています。創作的活動、スポーツレクリエーション活動、外出行事、地域交流、広報活動等の事業を行い、利用者の自立と社会参加、地域に開かれた施設運営に取り組んでいます。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成5年に重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、支援費制度導入時の平成16年にデイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年に障害者自立支援法が施行され、生活介護事業と自立訓練事業を実施、平成25年からは、障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。 平成9年に区立なのはな生活園、平成21年にはマイルドハート高円寺、平成30年に永福南社会福祉ガーデンが開所し、令和元年にはシャローム上井草さくらの開所が予定されており、区内の重度身体障害者の日中活動の場が拡充されています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	利用者の加齢による機能低下や健康状態に即したサービスの充実、医療的ケアなど重度の障害を有する方の日中活動の場としての役割が期待されています。また、家族の高齢化に伴う生活環境の変化に対応したきめこまやかな情報提供や、将来を見据えた支援が求められています。 また、病気や事故による高次脳機能障害や精神障害などを伴う多様な障害ニーズへの対応も求められています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	利用者や家族の高齢化等が見られており、介護保険制度への移行や家族への支援対象者の増加が見込まれます。特定相談事業所と連携をとりながら、地域サービス利用を活用するなど将来を見据えた支援に取り組みます。 既存の施設の役割分担を見直し、区全体で効率的な運営に取り組みます。			
	評価と課題	利用者及び家族の高齢化に伴い、機能低下や家庭環境の調整などの課題の解消に向けて、個々の健康状態や身体状況を丁寧に把握し、速やかな対応を行っています。精神疾患を併せ持つ方や難病、中途障害など新たな障害ニーズに対応できる支援力の向上に努めています。 医療的ケアを必要とする利用者が増えています。今後の医療的ケアを必要とする利用者への対応についてなのはな生活園と併せて検討します。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	障害の重度化及び重複化による機能低下に伴う介助量の増加や、きめ細やかな支援が必要になってきています。また、精神疾患や高次脳機能障害、難病など多様な障害特性に対応することが求められていることから、職員の知識と支援技術の向上に取り組みます。併せて公立施設のあり方について検討組織を設置し、課題解消に取り組みます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00203)

事務事業名称			なのはな生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	212					
現担当課名			障害者生活支援課				係名		なのはな生活園				連絡先電話番号	3335-0415	昨年度整理番号	214					
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業						
事務事業の概要	事業開始		平成 9年度																		
	平成30年度担当課名		障害者生活支援課								事業評価区分		一般								
	対象		なのはな生活園の利用者 (利用者=重度身体障害者)				根拠法令等		(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		さまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中でその人らしく生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理と維持の支援や健康状態のチェック、医療的ケアを実施する。				活動指標		指標名(1)		施設登録人数(生活介護登録人数+自立訓練登録人数)		指標名(2)		延べ通所者人数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮したり新しい自分を発見できるように支援する。また、地域社会において生き生きとした生活が送れるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 個別支援計画の策定と実施、機能訓練・医療的ケア・入浴サービス・バス送迎・給食提供などを行う。また、支援の充実のために本人、家族、関係機関との情報共有を行う。				成果指標		指標名(1)		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数		指標名(2)		出席率 延べ通所者人数÷(登録者数×開所日)						
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度									
				実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標	活動指標(1)		1 人		34		33		33		33		33		100.0						
	活動指標(2)		2 人		6,067		6,976		5,914		6,972		5,642		6,832		80.9				
	成果指標(1)		3 %		100.0		100		100.0		100		100.0		100		100.0				
	成果指標(2)		4 %		84.8		100		86.5		100		82.5		85		82.5				
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		65,141		69,571		67,544		68,867		67,788		68,780		平成30年度 予算執行率(%)		98.4		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項				
	(内)委託費		7 千円		61,113		63,309		62,800		63,988		63,554		65,240						
	職員数	常勤職員数		8 人		22.11		21.88		22.01		22.30		22.39		21.10					
		再任用職員数		9 人		0.53		0.53		0.52		0.00		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		2.00		2.00		2.30		2.00		2.65		3.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		189,306		187,337		189,088		191,579		188,658		177,789					
		再任用職員分		12 千円		2,327		2,327		2,303		0		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		5,942		5,942		6,771		5,888		8,186		9,267					
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		262,716		265,177		265,706		266,334		264,632		255,836						
	単位当たりコスト (14-6)÷1)		15 円		7,726,941		8,035,667		8,051,697		8,070,727		8,019,152		7,752,606						
	財源	受益者負担分		16 千円		90,713		97,113		87,369		97,113		83,559		90,113					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		90,713		97,113		87,369		97,113		83,559		90,113							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		172,003		168,064		178,337		169,221		181,073		165,723							
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		34.5		36.6		32.9		36.5		31.6		35.2							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	212
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		送迎用バス運行業務委託	244	日	49,420
		給食調理業務委託	244	日	14,133
		利用者健康管理	33	人	671
		医療的ケア	8	人	1,429
		その他(日常生活活動・行事特別活動ほか)			2,135
(2) 事業実績	<p>利用者の送迎における負担を考慮し、送迎バス4コースの見直しを図っています。利用者の状況を踏まえ、より安全に美味しく食べられるよう食形態の見直しを行っています。医療的ケア対象者だけでなく、利用者全員を対象に看護師による健康管理を実施しています。その結果、地域の医療機関や総合病院への受診や入院につながるケースもみられています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成9年なのはな生活園が法外の通所施設として開所し、平成16年支援費制度に伴い、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施し、平成25年4月からは障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。平成18年永福学園(肢体不自由教育部門)が開校し、新卒者から在宅者を出さないという考えのもと医療的ケアを含む多様な卒業生の受け入れを行い、身体障害者日中活動の場を確保しています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>利用者の加齢による機能低下や健康状態の変化に即した支援の充実と、多様化している医療的ケアを含む、重度身体障害者の地域生活及び日中活動の場としての役割が期待されています。また、家族の高齢化に伴い、今後の生活を見据えた対応ときめ細やかな情報提供や相談支援事業所などの連携強化が期待されています。 総合防災訓練や地域交流行事、職場体験実習(中学生・高校生)や近隣の保育園との交流事業など、地域社会との積極的なかわりのある社会参加が期待されています。 (仮称)シャローム上井草さくらとの連携は、活動内容やサービスなどの実務的なことだけではなく、記録用紙や書式、職場内研修などの幅広い運営支援が求められています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>11月に(仮称)シャローム上井草さくらが開設し、身体障害者通所施設が区内にバランスよく配置されます。これに伴い、住居に近い施設への施設間移行が促進されます。 高次脳機能障害、難病及び人工呼吸器管理を含む医療的ケアの対象者が増加します。このため、多様な障害ニーズに対応した支援力の向上と医療機関との連携システムの構築を図ります。 公立施設の役割の見直しや民間施設の支援体制など、今後の公立施設のあり方の検討を行い、現状と課題を整理し、総合計画・実行計画に反映していきます。</p>			
評価と課題	<p>特別支援学校の卒業生や(仮称)シャローム上井草さくらへの移行希望者、在宅者など重度身体障害者の日中活動の場を確保のために、定員を超えて暫定的な受け入れを行っています。今後は施設整備に合わせて利用者の他施設への移行等を進め、暫定の解消を図ります。また、身体への負担軽減や災害時や緊急時に対応できるよう、移行先は自宅に近い施設の利用へと誘導します。 特別支援学校の在学生の状況から、今後さらに多様な医療的ケアの必要な方の利用の増加が見込まれることから、今後医療的ケアを必要とする利用者への対応についてこすす生活園と併せて検討します。また、公立施設として重度の身体障害者支援について、民間のスキルアップに貢献する役割があるため、職員の支援力向上に努めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>これまで行ってきた事業を継続しつつ、家族支援も視野に入れた個別支援の質の向上に努めます。医療的ケアや高次脳機能障害の利用者が増えたことで、看護職や福祉職のより専門的な技術や知識が求められています。また、在籍者の加齢に伴い介助内容も多岐・複雑になっています。必要な人員を確保し、積極的に研修を受講したり職員間で情報共有を着実にやり、安心して安全な施設運営に取り組めます。 今後の施設整備計画に合わせ、本人や家族の意向を踏まえながら、自宅から近い施設への移行がスムーズに行えるように丁寧な説明や聞き取りに努めます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00204)

事務事業名称			障害者の入所・通所施設の運営助成			款	04	項	01	目	03	事業	033	整理番号	213	
現担当課名			障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	215		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成21年度														
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課									事業評価区分	一般				
	対象	民営化した障害者通所施設等を運営する法人			根拠法令等	(1)		(2)		杉並区重度知的障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れに応えていく。運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。			活動指標	指標名(1)		指標説明		利用者登録人数(年度当初)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	重度身体障害者施設において、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。重度知的障害者施設において、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。障害者通所施設において、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。			指標名(2)	指標説明		年間延べ利用者数								
				成果指標	指標名(1)		指標説明		定員に対する年度末の登録者数の割合							
				指標名(2)	指標説明		年度未登録者数÷定員(5施設の計)									
				指標名(1)	指標説明		1日当たり平均利用者数									
				指標名(2)	指標説明		年間延べ利用者数÷年間開園(所)日数(5施設の計)									
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	135	138	142	138	145	142	105.1						
	活動指標(2)	2	人	28,873	31,000	30,771	32,000	31,126	32,000	97.3						
	成果指標(1)	3	%	94.2	100	99.1	100	103.7	100	103.7						
	成果指標(2)	4	人	116	125	123	125	128	128	102.4						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	111,135	141,645	124,604	140,988	125,313	185,194	平成30年度予算執行率(%)	88.9					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0	執行率90%未満の理由						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.23	0.23	0.22	0.21	0.43	0.43	重度身体障害者通所施設における利用者送迎バス運行経費補助金の残です。					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10						
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,969	1,969	1,890	1,804	3,623	3,623						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	594	594	294	294	309	309						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	113,698	144,208	126,788	143,086	129,245	189,126							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	842,207	1,044,986	892,873	1,036,855	891,345	1,331,873							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	113,698	144,208	126,788	143,086	129,245	189,126							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	213
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	重度身体障害者支援施設運営助成	1	所	59,097
		重度知的障害者通所施設運営助成	3	所	53,392
		障害者通所施設の送迎サービス助成（あけぼの作業所分）	1	所	12,824
	(2) 事業実績	<p>重度身体障害者施設については、運営経費のうち、医療的ケアにかかる非常勤職員人件費（指導医、看護師等）及び送迎バス運行にかかる経費の一部を補助しています。</p> <p>重度知的障害者施設については、施設運営費のうち、非常勤職員人件費、施設賃借料、送迎にかかる経費等の一部を補助しています。</p> <p>また、障害者通所施設については、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助しています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>重度障害者通所施設の需要に応えるため、民間事業者による施設整備を図るとともに民間施設であっても公立施設と同等のサービスを提供し、安定的な運営を確保できるよう、運営費の一部助成を行っています。</p> <p>平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎サービスに要する経費の補助については、送迎加算額を差し引いた額で補助をしています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>民間事業者による重度障害者施設の運営であっても、公立施設と同等のサービスが提供されるよう運営費の補助を継続するよう保護者から要望が寄せられています。</p> <p>高齢化に伴い障害の重度化や重複化が見込まれる利用者に対するサービスの質の確保と向上のために補助金の拡充を求める声があります。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者施設では、利用者の高齢化に伴う、重複障害者の割合や医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれます。</p> <p>また、特別支援学校の卒業生や中途障害者等の日中活動の場の確保のため、新たな施設の整備に取り組むことで、運営費補助金の増加が見込まれます。</p> <p>障害者施設利用者の高齢化・重度化に加え中途障害者、難病等施設利用者の障害の多様に伴い、支援等の充実を図る一方で、適正な補助金交付に努めます。</p>			
	評価と課題	<p>民間事業者による施設運営であっても公立施設と同等のサービスの提供と安定した運営を確保するため、引き続き運営費の補助を行います。</p> <p>今後、施設利用者の高齢化、障害の重度化・重複化に加えて、高次脳機能障害、難病等の利用者の増加に伴い、障害特性に応じたサービスの提供を図るために民間事業者の運営状況や国・東京都等の動向を踏まえて適正な運営費の補助を行います。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者施設利用者の状況を踏まえて、より適正なサービスの提供を図るため引き続き運営費の一部補助を行います。</p> <p>補助金の交付に際しては、実績報告書等により事業内容の把握及び運営状況の精査を行い、適正な補助金執行に努めます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00205)

事務事業名称 障害者の就労支援事業			款 04	項 01	目 03	事業 034	整理番号 214			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2274		昨年度整理番号 216					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成16年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 02	主要事業(区政経営報告書掲載事業)			
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分 一般			
	対象	就労を希望する障害者		根拠法令等 (1)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律					
				(2)	杉並区障害者職場実習実施要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取組や支援を行ない一般就労を進めていく。障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。		活動指標	職場実習をした人数					
			指標名(1)	職場実習をした人数						
			指標説明	すぎなみ仕事ねっと定例会への参加延べ人数						
			指標名(2)							
			指標説明							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	就労を希望する障害者に対し、障害者雇用支援事業団と連携して実習の場を提供する。ワークチャレンジ事業を通じてより実践的な就労体験の場を提供する。障害者施設の工賃の向上に必要なアドバイス等が受けられるカウンセリングの実施に加え、障害者施設で構成される任意団体(すぎなみ仕事ねっと)への補助を行う。		成果指標	民間作業所、障害者雇用支援事業団、特別支援学校から就職した人数						
			指標名(1)							
			指標説明	区内障害者施設の平均工賃						
			指標名(2)							
			指標説明	区内27か所の就労継続事業所の総工賃額÷工賃を支払った人数(30年度は推計値)						
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	40	53	35	53	23	53	43.4	
	活動指標(2)	2 人	360	330	320	330	301	330	91.2	
	成果指標(1)	3 人	79	110	89	115	88	115	76.5	
	成果指標(2)	4 円	14,647	15,086	14,610	15,348	14,698	15,751	95.8	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	33,572	33,287	19,668	1,715	1,222	1,585	平成30年度予算執行率(%)	71.3
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行率90%未満の理由 職業実習への参加者の減少による実習奨励金の残です。 前年度事業費より減となった理由 所管課に予算措置されていたパート職員人件費が、人事課に統合されたことによる減です。	
	(内)委託費	7 千円	48	27	25	26	19	2		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.15	1.14	0.97	1.29	1.51		1.97
		再任用職員数	9 人	1.09	1.05	1.05	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	7.59	7.59	8.00	7.00	7.00		3.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	9,846	9,761	8,333	11,082	12,723		16,599
		再任用職員分	12 千円	4,785	4,610	4,649	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	22,550	22,550	23,552	20,608	21,623		9,267
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	70,753	70,208	56,202	33,405	35,568	27,451		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	1,768,825	1,324,679	1,605,771	630,283	1,546,435	517,943		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	308	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	308	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	70,445	70,208	56,202	33,405	35,568	27,451		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	214
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		職場実習	23	人	134
		すぎなみワークチャレンジ事業	9	人	56
		障害者施設の工賃アップ支援			1,032
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>職場実習については、これまで3種類あった実習方式を2種類に整理し、より分かりやすいものとしています。実習延べ人数の減少については、他の就労支援との住み分けが不十分であったことによるものです。ワークチャレンジ事業では、区役所内での就労体験を生かし、今年度4名が一般就労しています。障害者施設の工賃アップ支援では、障害者施設で構成される「すぎなみ仕事ねっと」の運営支援、優先調達による庁内受注や物品調達の推進に取り組んでいます。「すぎなみ仕事ねっと」は、新規開設した障害者施設1件が加盟し、計30施設となっています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>【区内の就労移行支援事業所数】平成21年度末：3所 平成28年度末：5所 平成30年度末：7所 都内就労移行支援事業所の増加に伴い、サービス利用の中でより実践的な職場実習を行う機会が確保されています。 平成24年6月に「東京都工賃向上計画」が策定され工賃向上の取組が進む中、杉並区では平成18年から作業所の工賃アップを目的とした障害者施設で構成する任意団体「すぎなみ仕事ねっと」の支援を行っています。平成27年度から29年度まで、障害者施設の更なる工賃アップと「すぎなみ仕事ねっと」のネットワーク強化を図るため、民間企業との協働事業を実施し、そのノウハウを活かし障害者施設の工賃アップに取り組んでいます。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>職場実習では、事業内容の説明不足が指摘されています。また、就労を希望する障害者のニーズに沿った実習先の確保が期待されています。 ワークチャレンジ事業では、より実践的な就労機会の提供が求められています。 工賃アップ支援については、施設間でのネットワークを活用して共同受注体制を整備し、実際に複数の施設で一つの仕事を受注することができたことで、「共同受注」の拡充が期待されています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>就労移行支援事業所に代表される様々な就労支援体制が整備されている一方、多様な働き方が認められていく中、本事業としての職場実習では、より障害の重い方々の体験的な実習の機会が求められていきます。 共生社会への取り組みが強化される中、限られた場所で行われているワークチャレンジ事業の在り方については見直しを行います。 工賃アップ支援に関しては、障害者の働く場所を広げていく取組が進められています。就労支援を行う施設での福祉的就労の持つ意味が変化し、就労を視野に入れた柔軟な対応が求められていきます。</p>			
	評価と課題	<p>職場実習については、他の就労支援との住み分けが不十分であり、前年度比では大幅減少となっています。委託事業の中で行う職場実習の主たる対象を、障害の重い方や「体験実習」を希望する者とすることで、他の就労支援との差別化を図るなどの見直しを行います。 ワークチャレンジ事業は、目的と内容の抜本的な見直しを行い、より一般就労に結びつく形での支援へ移行していきます。平均工賃は平成29年度に比べ増加していますが、目標工賃に達しませんでした。これは、障害者施設の利用者の高齢化、重度化が進み高度な高単価作業を請負うことが難しい施設も出ていることなどによります。また、施設により、目指す取組目標が異なることから目標工賃額に差が出ています。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>職場実習については、他の就労支援で実施している職場実習との差別化を進め、より重度の方の体験を中心に据えていきます。 ワークチャレンジ事業は、より実践的かつ多種多様な就労場所の確保に向け、事業の見直しを図ります。 障害者施設の工賃アップについては、「すぎなみ仕事ねっと」の自立した運営を支援することで民間事業所の連携を強化し、工賃アップについて職員のスキルアップ向上を図ります。また、区民や区内事業者などに障害者施設の活動内容を広く周知し、物品販売や請負作業に結び付けることにより都の平均工賃を上回れるよう取り組みます。</p>				

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00682)

事務事業名称		障害者スポーツ等支援				款	04	項	01	目	03	事業	041	整理番号	222		
現担当課名		障害者施策課		係名		管理係		連絡先電話番号		1139		昨年度整理番号		224			
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業		
事業開始		平成27年度		実行計画事業		目標		04		施策		16		計画事業		03	
平成30年度担当課名		障害者施策課										事業評価区分		一般			
対象		区内の障害者及びその関係者				根拠法令等		(1)		障害者基本法第1条、第6条及び第25条							
								(2)									
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		障害者スポーツ・レクリエーション事業開催回数								
	障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援することにより、障害者の社会参加の機会を拡大する。スポーツ・レクリエーションをとおして、障害への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現を目指します。				指標説明		指標名(2)		障害者スポーツ・レクリエーション普及・振興講演会								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明		成果指標		障害者スポーツ・レクリエーション参加者数								
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツに対して関心の高まるこの時期を大きな契機として捉え、障害者がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を増やすための方策を実施し、障害者の社会参加を積極的に進めていく。				指標説明		指標名(1)										
								指標名(2)									
								指標説明									
区分	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度								
		実績	計画	実績	計画	計画(目標値)	実績				計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回	1	1	1	1	1	1	100.0							
	活動指標(2)	2	回	1	1	0	1	0	1	0.0							
	成果指標(1)	3	人	42	50	41	50	40	50	80.0							
	成果指標(2)	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	775	1,028	797	1,018	819	1,080	平成30年度予算執行率(%)	80.5						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	500	520	518	510	510	710	平成30年度は、障害者スポーツ・レクリエーション普及啓発の1事業を、障害者週間のイベントである「ふれあいフェスタ」で実施したため経費が少なくて済み、執行残となりました。							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.70	0.70	0.70	0.72	0.72	0.72							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10							
	人件費	常勤職員分	11	千円	5,993	5,993	6,014	6,186	6,067	6,067							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	0	297	294	294	309	309							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	6,768	7,318	7,105	7,498	7,195	7,456								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	6,768,000	7,318,000	7,105,000	7,498,000	7,195,000	7,456,000								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	250	250	250	250							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	250	250	250	250								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	6,768	7,318	6,855	7,248	6,945	7,206								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	222
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	障害者スポーツ・レクリエーション事業実施	1	回	500
	(2) 事業実績	<p>区内に在住、通学、通所等している障害者や家族、支援者を中心に広く区民に呼びかけ、障害のある方もない方も共に楽しむポッチャ、卓球パレー、ユニカール、ダーツ、スポーツ吹矢の体験会等を実施し、障害者がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供や、地域での交流の場の充実を図りました。</p> <p>平成30年度は新規に、障害者が安心して利用できる施設運営に向けた取組として、スポーツ施設2施設で障害当事者等によるモニタリング(施設見学と意見交換)を実施しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成26年に東京オリンピック・パラリンピックが令和2年（2020年）に開催される旨の決定を受け、スポーツへの関心が高まるこの機会に障害者の社会参加の機会を拡大するため、平成27年度から障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援するための方策の検討を開始しました。</p> <p>平成27年度に実施した障害者スポーツ・レクリエーション実態調査の結果及び区内における障害者スポーツ・レクリエーションの実施状況等を踏まえ、平成28年度から障害者スポーツ・レクリエーション事業の委託実施を開始しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>より多くの障害者の社会参加の機会を拡大するためには、競技性の高い障害者スポーツより、障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者レクリエーション活動への支援を重点的に実施していくことが必要との意見があります。</p> <p>障害者スポーツ・レクリエーション事業に参加した障害者やその関係者からは、このような取組を継続して実施してもらいたいとの意見があります。</p> <p>また、スポーツ施設だけでなく、普段障害者が通い慣れた場所でスポーツ・レクリエーションを行ってほしいとの声がありました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催に向け、障害者スポーツ・レクリエーションを含め、スポーツに対する関心はますます高まっています。障害の有無・程度にかかわらず、より多くの方が気軽に参加できるよう、障害者スポーツ・レクリエーション事業の効果的な運用を検討・実施します。また、障害者が日中活動している施設や各種イベントなどにおいて事業を実施するなど機会の拡大を図ります。</p>			
評価と課題		<p>障害者のある人もない人も共に参加するスポーツ・レクリエーションの機会を増やすことは、障害者の社会参加を促進するとともに、地域の人々との交流により、障害への理解を深めるきっかけとなります。</p> <p>平成30年度は、スポーツ・レクリエーション振興事業を1回実施するとともに、障害者週間のイベントである「ふれあいフェスタ」でポッチャの体験会を実施しました。今後も、より多くの障害者がスポーツ活動等を始めるきっかけとなるよう、障害者が日中活動している施設などで出前教室を実施していきます。さらに今後も、障害当事者等による施設のモニタリングを実施し、ハード・ソフトの両面から障害が利用しやすい施設運営ができるような取組を進めます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
		<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催をきっかけとして、より多くの障害者がスポーツ活動等を始めるきっかけとなるよう、障害者の身近な場所で、誰もが参加しやすい種目のスポーツ・レクリエーションを行えるような機会を充実していきます。</p> <p>また、出前教室の実施などにより、普段スポーツ・レクリエーションになじみのない障害者が参加しやすいよう、機会の拡大を図ります。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00217)

事務事業名称 障害者福祉会館の維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 001	整理番号 228				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 231					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度									
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	施設維持管理					
	対象	障害者福祉会館及びその利用者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	施設の延べ床面積 保守委託契約件数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明							
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画 実績		平成30年度 計画 実績 (目標値)	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	m ²	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	100.0		
	活動指標(2)	2	件	9	9	9	9	9	100.0		
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	29,570	26,455	23,956	26,469	24,646	25,349	平成30年度 予算執行率(%) 93.1	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0		特記事項
	(内)委託費	7	千円	17,947	18,435	17,749	18,821	18,205	18,542		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.23	0.23	0.22	0.21	0.22	0.22	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,969	1,969	1,890	1,804	1,854	1,854	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	1,188	1,188	1,178	1,178	1,236	1,236	
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	32,727	29,612	27,024	29,451	27,736	28,439		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	18,765	16,979	15,495	16,887	15,904	16,307		
	財源	受益者負担分	16	千円	30	30	28	30	32	30	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	30	30	28	30	32	30		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	32,697	29,582	26,996	29,421	27,704	28,409		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 228

平成30年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	施設保守管理委託			17,738
	光熱水費			5,329
	維持管理等			1,112
	その他（通信運搬費）			467
(2) 事業実績	<p>障害者福祉会館は、1階に障害者雇用支援事業団、3階の一部に杉並区障害者地域相談支援センター（すまいる高井戸）が併設しており、委託先の障害者福祉会館運営協議会を加えた四者で連携し、利用者が安全で快適に使用できる環境の確保に努めています。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、障害者福祉会館運営協議会と連携を密にして、施設の保守等に取り組んでいます。施設内で大きな事故もなく、利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。 しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等が増えてきており、障害者の利用を考慮した適正な維持管理を実施します。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00683 ）

事務事業名称		視覚障害者会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	002	整理番号	229	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	232			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	令和27年度													
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	施設維持管理									
	対象	視覚障害者会館及びその利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるように施設を維持管理する。			活動指標	指標名（ 1 ）		施設延床面積							
					指標説明		保守委託契約件数								
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。			成果指標	指標名（ 1 ）										
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1	m ²	167	167	167	167	167	167	100.0					
	活動指標（ 2 ）	2	件	4	4	4	4	4	4	100.0					
	成果指標（ 1 ）	3													
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,633	2,026	1,631	1,870	1,662	1,811	平成30年度 予算執行率（%）	88.9				
	（内）投資的経費等	6	千円							特記事項 執行率90%未満の理由 施設管理委託の入札による 落差金及び一般需用費の残によるものです。					
	（内）委託費	7	千円	895	1,015	896	1,037	940	1,049						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11		0.11				
		再任用職員数	9	人											
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		0.10				
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,027	942	945	945	927		927				
		再任用職員分	12	千円											
		非常勤職員分	13	千円	297	297	294	294	309		309				
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	2,957	3,265	2,870	3,109	2,898	3,047						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	17,707	19,551	17,186	18,617	17,353	18,246						
	財源	受益者負担分	16	千円											
		国からの補助金等	17	千円	608	752	632	670			671				
		都からの補助金等	18	千円	304	375	316	335			335				
その他の補助金等		19	千円												
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	912	1,127	948	1,005		1,006						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	2,045	2,138	1,922	2,104	2,898	2,041						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%													

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 229

平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託			778
		光熱水費			673
		維持管理等			211
		その他（ ）			
(2) 事業実績	視覚障害者会館の維持管理は、業務を委託しているNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携を密にして、視覚障害者の立場に立った施設の保守管理に努めています。このため、施設内で大きな事故もなく、利用者からは安心して施設を利用できると言われています。 しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理に努めます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00218)

事務事業名称		障害者交流館維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	230	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	233			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成7年度													
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課									事業評価区分	施設維持管理			
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。			活動指標	指標名(1)		施設延床面積(2施設合計)							
					指標説明		保守委託契約件数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	m ²	693	693	693	693	693	693	100.0					
	活動指標(2)	2	件	1	1	1	1	1	1	100.0					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,037	5,330	5,258	5,516	5,495	5,972	平成30年度予算執行率(%)	99.6				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	3,220	3,275	3,237	3,344	3,324	3,765						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20					
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,027	1,027	945	945	927	927					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	594	594	589	589	618	618					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	6,658	6,951	6,792	7,050	7,040	7,517						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	9,608	10,030	9,801	10,173	10,159	10,847						
	財源	受益者負担分	16	千円	523	550	522	550	542	550					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	523	550	522	550	542	550						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	6,135	6,401	6,270	6,500	6,498	6,967						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	7.9	7.9	7.7	7.8	7.7	7.3							

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 230

平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託			2,171
		光熱水費	2	所	3,265
		維持管理等	2	所	59
		その他（ ）			
(2) 事業実績	障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携して行っています。高円寺障害者交流館は、高円寺福祉事務所、障害者地域相談支援センター（すまいる高円寺）が併設しており、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。また、和田障害者交流館については、和田小学校の一部に区民集会所と併設で設置しており、高円寺障害者交流館と同様に利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携を密にして、施設の保守管理に努めています。この間、施設内で大きな事故もなく、利用者の多くから安心して施設を利用できると喜ばれています。 今後も主な施設利用者である障害者の視点から施設の安全安心な環境づくりに努めていきます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00219 ）

事務事業名称 障害者施設運営			款 04	項 01	目 06	事業 004	整理番号 231			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 234					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始									
	平成30年度担当課名 障害者生活支援課				事業評価区分	その他簡易な評価				
	対象	区が有する障害者福祉施設等（生活圏を除く）	根拠法令等 (1) (2)	契約事務規則 会計事務規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	障害者生活支援課本庁職員 需用費（一般需用費）合計						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。 各園の事業運営や維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務経費（区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、研究会負担金等）の支援を行う。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分	単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画 (目標値)	平成30年度 実績	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1 人	9	10	10	10	11	100.0		
	活動指標（2）	2 円	2,911	1,856	1,182	5,260	6,981	132.7		
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	8,381	7,523	6,645	12,740	12,423	6,280	平成30年度 予算執行率(%) 97.5	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 前年度事業費からの増理由 区有施設における緊急を要する修繕を行ったことによるものです。	
	(内) 委託費	7 千円	2,402	2,553	2,420	2,611	2,435	7,145		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.57	0.57	0.54	0.32	0.54		0.54
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40		0.40
	人件費	常勤職員分	11 千円	4,880	4,880	4,639	2,749	4,550		4,550
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	1,188	1,188	1,178	1,178	1,236		1,236
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	14,449	13,591	12,462	16,667	18,209	12,066		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15 円	1,605,444	1,359,100	1,246,200	1,666,700	1,820,900	1,096,909		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	14,449	13,591	12,462	16,667	18,209	12,066		
受益者負担比率 (16÷14)		22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	231
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		樹木剪定及び害虫防除委託			
		光熱水費	1	所	2,856
		施設修繕	5	所	6,775
		その他（研究会負担金、報償費、事務費ほか）			473
	(2) 事業実績	本庁職員が施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入のほか、各生活園の事業運営において維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務を行っています。委託料は区有施設「あけぼの作業所」の樹木剪定費で、施設及び近隣の住環境の維持向上を図っています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	区有施設はいずれも建物の老朽化が進んでおり、小規模修繕に加え設備の改修が増えています。運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善は困難ですが、不要不急な経費の支出や必要性の薄れたものの支出について、常に見直しを行い適正な経費の支出に努めます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00220)

事務事業名称		すぎのき生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	232	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	235				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度														
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	すぎのき生活園の利用者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立すぎのき生活園条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。				活動指標	指標名(1)		延べ床面積							
						指標名(2)		保守委託契約件数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。				指標説明											
					成果指標	指標名(1)										
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0						
	活動指標(2)	2	件	10	12	12	12	12	12	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	25,754	26,545	24,199	27,573	25,860	25,575	平成30年度予算執行率(%)	93.8					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	13,191	14,377	13,621	15,159	14,509	15,397							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.73	2.73	1.83	1.71	1.83	1.83						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	1.20	1.20	1.20	2.20	2.20	2.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	23,374	23,374	15,722	14,691	15,420	15,420						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	3,565	3,565	3,533	6,477	6,796	6,796						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	52,693	53,484	43,454	48,741	48,076	47,791							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	21,667	21,992	17,868	20,042	19,768	19,651							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	52,693	53,484	43,454	48,741	48,076	47,791							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	232
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	事業費(千円)
		施設保守管理委託			13,002
		光熱水費		8,312	
		維持管理等		4,546	
		その他()			
(2) 事業実績	<p>すぎのき棟は開設から37年、けやき棟は26年が経過し、施設の設備や機器に不具合が生じており、すぎのき棟では、冷却水保温ヒーター交換、非常用発電機蓄電池交換、受水槽バルブ交換、活動室ドア交換、けやき棟では厨房水栓不良修理、トイレ便座交換、厨房温水器交換など修理を行いました。その他予算内の修繕費では対応できないため、営繕課に依頼し、すぎのき棟空調機器全面交換と手すりの全面取替を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
評価と課題	<p>利用者の3分の1以上が重複障害者ですが、施設の仕様が身体障害者の利用に対応していない現状があります。また、車椅子や杖歩行等の利用者と動きの激しい利用者が同じスペースで活動することは、接触等の危険があること、利用者への活動制限にもつながることから、障害の状況に応じたスペースの確保や適切な設備の設置に努めています。</p> <p>すぎのき棟の建物は築38年を迎え、毎年修繕工事を行っているものの、水道配管の不具合をはじめ大規模な改修が必要となっています。しかし、利用者の障害特性から運営しながらの修繕は不可能であり、運営を一時休止することも難しいため、関連課と協議等を進め、計画的な改修を進めます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
今後の進め方					

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00221)

事務事業名称		こすもす生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	233				
現担当課名		障害者生活支援課		係名		こすもす生活園		連絡先電話番号		3317-9312		昨年度整理番号		236					
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業					
事務事業の概要	事業開始		平成 5年度																
	平成30年度担当課名		障害者生活支援課								事業評価区分		施設維持管理						
	対象		こすもす生活園の利用者		根拠法令等		(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。		活動指標		指標名(1)		施設の延床面積		指標名(2)		保守委託契約件数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。		指標説明		成果指標		指標名(1)		指標名(2)		指標説明						
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度							
				実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1 m ²		794		794		794		794		794		794		100.0		
	活動指標(2)		2 件		7		8		8		8		8		8		100.0		
	成果指標(1)		3																
	成果指標(2)		4																
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		8,973		9,632		8,039		10,783		9,897		8,407		平成30年度 予算執行率(%) 91.8		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内)委託費		7 千円		4,090		4,808		4,462		4,994		4,599		4,446		前年度事業費からの増の理由 施設修繕費の増によるものです。		
	職員数	常勤職員数		8 人		0.73		0.73		0.50		0.50		0.50		0.50			
		再任用職員数		9 人		1.00		1.00		1.00		1.00		1.01		1.01			
		非常勤職員数		10 人		0.20		0.20		0.20		0.20		0.00		0.00			
	人件費	常勤職員分		11 千円		6,250		6,250		4,296		4,296		4,213		4,213			
		再任用職員分		12 千円		4,390		4,390		4,428		4,428		4,478		4,478			
		非常勤職員分		13 千円		594		594		589		589		0		0			
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		20,207		20,866		17,352		20,096		18,588		17,098				
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		25,450		26,280		21,854		25,310		23,411		21,534				
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0			
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0			
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0					
差引:一般財源(14-20)		21 千円		20,207		20,866		17,352		20,096		18,588		17,098					
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 233

平成30年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	施設保守管理委託			3,613
	光熱水費			2,887
	維持管理等			3,397
	その他（ ）			
(2) 事業実績	1階パネルシャッター修理、手洗シンク水栓修理、厨房冷蔵庫ドレイン管延長修理、ブラインド修理、流し台水栓漏水修理、洋式トイレロータンク用仕切弁交換修理、電子ピアノ修理、浴室洗濯排水管の修理、活動室調理台周囲耐火対応修理、廊下及び階段の手すり修理、自転車修理、介護リフト修理、利用者用便器の交換修理、厨房前室床及び食品庫床の長尺シートの張替修理、食品庫配電盤背面の錆止め処理及び塗装補修、2階男子トイレ手洗い用水栓交換を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>開設から25年以上が経過し、設備面の老朽化が目立っています。照明設備をはじめ、水周りや床面など修理や改修が必要となっているため、改修の要望や予算の確保を行っていきます。また障害の重度化により利用者の車いすが大型化していますが、施設設備が対応していないことから、活動範囲が限られています。バスの運行も含め安全を確保しながら利用者の環境の整備に取り組み、安定したサービスを提供できるよう取り組みます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 0022 ）

事務事業名称		なのはな生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	007	整理番号	234	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	237				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 9年度														
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分										施設維持管理
	対象	なのはな生活園の利用者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。				活動指標	指標名（ 1 ）		施設延べ床面積							
						指標説明		保守委託契約件数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				指標名（ 2 ）	指標説明										
	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。				成果指標	指標名（ 1 ）										
						指標説明										
					指標名（ 2 ）	指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（ 1 ）	1	m ²	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0						
	活動指標（ 2 ）	2	件	9	10	10	10	10	10	100.0						
	成果指標（ 1 ）	3														
	成果指標（ 2 ）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	14,063	12,647	10,986	19,149	17,801	12,658	平成30年度予算執行率（%）	93.0					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	5,285	6,053	5,277	7,952	7,140	6,813	前年度事業費からの増理由						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.26	1.23	1.23	1.71	1.79	1.72	老朽化に伴う重要備品の入替及び施設修繕費の増によるものです。					
		再任用職員数	9	人	0.53	0.53	0.52	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	10,788	10,531	10,567	14,691	15,083	14,493						
		再任用職員分	12	千円	2,327	2,327	2,303	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	594	594	589	589	618	618						
	総事業費	14	千円	27,772	26,099	24,445	34,429	33,502	27,769							
	単位当たりコスト	15	円	27,254	25,612	23,989	33,787	32,877	27,251							
	財源	受益者負担分	16	千円	5	4	4	4	6	4						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	5	4	4	4	6	4							
差引：一般財源		21	千円	27,767	26,095	24,441	34,425	33,496	27,765							
受益者負担比率		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	234
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託			
		光熱水費			4,652
		維持管理等			2,137
		浴槽の購入	1	台	4,860
		その他（調理室空調設備の設置）			1,220
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>設置後20年が経過し老朽化が見られた浴槽を交換しました。 また、調理室の空調設備が不十分であったため、新たに空調機器を設置しています。 その他、施設設備及び備品等の不具合には、修繕や買替等により早期対応をしています。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題		<p>開設から20年が経ち、施設や設備の老朽化が見られます。利用者が安全で快適に過ごせるように、日頃の管理や定期的な点検及び修繕を随時行っています。 施設の老朽化や施設利用者の障害の重度化に伴い、特定の設備や備品の不具合が生じており、修繕や修理に係る予算の確保を図っています。 今後も障害が重い利用者の増加が予想されます。安全で安定したサービスを提供するため施設環境の整備に努めます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
今後の進め方					

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00231 ）

事務事業名称 障害者入所・通所施設の整備			款 04	項 01	目 07	事業 004	整理番号 243			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2277			昨年度整理番号 246				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成11年度	実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般				
	対象	障害者通所施設を整備する社会福祉法人		根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第6条 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	重度障害者の日中活動の場を確保するため、生活介護事業等を行う通所施設の整備を進め、障害者の豊かな地域生活を実現する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	区内重度障害者通所施設の数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区有地等を活用し、社会福祉法人が整備する障害者通所施設に対し、整備費を助成することにより、重度障害者の日中活動の場を確保する。 平成30年度未現在、区内では重度障害者の通所施設8施設（知的4・身体4・うち5施設は民間施設）を運営している。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	区内重度障害者通所施設の受入者数					
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画 (目標値)	平成30年度 実績	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 所	7	8	8	8	8	10	100.0	
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3 人	196	196	198	220	201	231	91.4	
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	42,529	70,242	70,239	51,715	49,762	109,161	平成30年度 予算執行率(%) 96.2	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 前年度事業費からの減理由 重度障害者通所施設整備工事の完了に伴う整備補助金の減によるものです。	
	(内) 委託費	7 千円	0	6,190	6,190	54	54	110		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.23	0.34	0.32	0.64	0.43		0.54
		再任用職員数	9 人	0.00	0.30	0.30	0.60	0.60		0.60
		非常勤職員数	10 人	0.10	0.20	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,969	2,911	2,749	5,498	3,623		4,550
		再任用職員分	12 千円	0	1,317	1,328	2,657	2,660		2,660
		非常勤職員分	13 千円	297	594	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	44,795	75,064	74,316	59,870	56,045	116,371		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	6,399,286	9,383,000	9,289,500	7,483,750	7,005,625	11,637,100		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	44,795	75,064	74,316	59,870	56,045	116,371		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	243	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すだちの里杉並・運営法人への償還金助成			
		マイルドハート高円寺・運営法人への償還金助成			22,660
		(仮称)シャローム上井草さくら建設費助成			2,400
		(仮称)下高井戸希望の家建設費助成			6,174
		その他(建設用地維持管理)			216
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>重度障害者支援施設等を整備・運営している社会福祉法人に対し、借入償還金の一部助成を行いました。</p> <p>令和元年度に開設予定の(仮称)シャローム上井草さくらと(仮称)下高井戸希望の家を整備している社会福祉法人に対し、整備実績による助成を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>重い障害があっても、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう重度障害者の入所・通所施設の整備を行っています。施設整備にあたっては、民間事業者の負担軽減のため、整備費等の助成を行なっています。これまでに入所・通所施設2所を整備しています。平成29年度には、重度身体障害者入所・通所施設が開設しています。</p> <p>現在、重度障害者施設2所の整備を進めています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>特別支援学校の在校生の保護者からは、卒業後の日中活動の場の確保として、通所施設の整備に対する要望が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>令和元年度に重度身体障害者通所施設等の開設により、特別支援学校卒業生などの日中活動の場の確保が図られています。</p> <p>また、既存区立施設の老朽化、通所者の受け入れ数増加に対応するための検討を進めていきます。</p>			
評価と課題		<p>区有地や区有施設等を活用し、令和元年11月開設に向けて重度障害者施設(2所)の整備に取り組んでいます。</p> <p>今後、特別支援学校の卒業生をはじめとした需要予測に対し通所施設が不足する見込みであることから、引き続き用地確保や運営法人等への支援をすることで施設整備を推進します。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>令和元年度に(仮称)シャローム上井草さくら、(仮称)下高井戸希望の家の建設工事が完了することから、建設費助成費用が減となります。</p> <p>一方で、令和元年度から都用地を活用した障害者施設建設計画を進めており、令和2年度は国補助協議を行い、令和3年度から事業者による施設整備を進める予定となっています。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00741 ）

事務事業名称 障害者施設建設（上井草保育園跡地）				款 04	項 01	目 07	事業 032	整理番号 249		
現担当課名 障害者生活支援課		係名 障害者生活支援課		連絡先電話番号 2277		昨年度整理番号 255				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成30年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分 一般			
	対象	上井草保育園跡地		根拠法令等 (1) (2)						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	上井草保育園跡地（上井草三丁目）に重度身体障害者通所施設を整備する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	旧上井草保育園舎解体工事及び埋蔵文化財試掘調査を実施する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）						
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1								
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	3,358	3,305	30,188	28,634	0	平成30年度 予算執行率(%) 94.9	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	特記事項 前年度事業費からの増理由 施設整備に伴う既存の建物の解体等に係る経費の増によるものです。 当事業は、平成30年度で終了しました。	
	(内) 委託費	7	千円	3,358	3,305	30,188	28,634	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.11	0.00	0.11		0.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.10	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.10	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	945	0	927		0
		再任用職員分	12	千円	0	443	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	294	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	3,358	4,987	30,188	29,561	0		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	0	0	0	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	3,358	4,987	30,188	29,561	0		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		249	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		旧上井草保育園施設解体工事			
		埋蔵文化財試掘調査			1,296
		ワークショップ委託			348
		その他（ ）			
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	旧上井草保育園園舎解体工事を行うとともに埋蔵文化財試掘調査を実施しました。また、旧上井草保育園園舎解体の際に伐採した桜の樹を活用するワークショップを開催しました。			
		<p>事業開始当初から現在までの変化</p> <p>事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）</p> <p>今後（3～5年）の予測と方向性</p> <p>評価と課題</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成28年度、上井草保育園跡地に重度身体障害者通所施設を整備することを計画し、平成29年度に施設整備運営事業者を選定しました。平成30年度に旧園舎解体後、公募により選定した事業者が重度身体障害者通所施設建設に着手しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	障害者施設の整備にあたり、敷地内にある桜の木を残してほしいという要望が近隣住民から寄せられました。			
事業環境の変化と方向性	今後（3～5年）の予測と方向性	令和元年度に重度身体障害者通所施設が開設します。			
	評価と課題	旧上井草保育園敷地にあった3本の桜の樹のうち1本は残し、伐採した2本の桜の樹を活用するワークショップを開催し、地域の方々から好評を得ています。平成30年度から重度身体障害者通所施設建設工事に着手しており、より近隣住民の方との良好な関係を築くよう努めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	事業者に対する建設費助成は、障害者入所・通所施設の整備事業で行います。本事業は、平成30年度で終了します。			